高齢者を地域でみるための連携会議開催レポート

-令和７年度　２クール-

No 2

テーマ：認知機能が低下した方の在宅医療を支える多職種連携に向けて

［第１回］令和7年９月17日　webミーティング

・認知機能が低下している方の支援で最近感じていること等

お薬を飲んだこと（飲んでいないこと）を忘れてしまうので、判断が難しい・・・

書類などを片付けた場所を忘れてしまい、夜中でも困って連絡が来て、どこまで対応するか迷う

➤お薬の飲み忘れ、受診忘れ、物の紛失・・・、支援者の負担が増

［第２回］令和7年10月21日　対面会議

参加者：３７名

参加者職種：
医師、歯科医師、薬剤師、看護師、
訪問看護師、歯科衛生士、医療相談員、
包括、峡東保健所、保健師、行政職員
株式会社メディヴァ

①ミニ学習会「在宅医療での薬剤師の関わり」

依田 英樹 薬剤師（アーク調剤薬局 塩山中央店 在宅医療部）

・在宅医療での薬剤師の役割
・退院時カンファレンス参加の重要性
・薬剤師の介入で果たす役割　など

事例を交えながら、わかりやすく薬剤師の役割や有効な連携についてご講義いただきました！

②グループディスカッション

認知機能が低下しているが、会話は普通にできる方へどんな対応をしましたか？

外来で「あれ?最近こないね」と思っているうちに入院してきて、こんな状況になっていたんだと初めて気づく場合もある。

薬がまだあるのに、病院に行ってもらってくる。病院の看護師へ連絡してカンファレンスをしてもらったケースがある。

ある程度、認知症が進むと対応が難しくなるため、早期の段階で、会話の中から、**ACPを意識**していく。

在宅での薬剤師のイメージを改めて実感しました。他の職種の役割や仕組みをもっと理解できていけば、更に繋がっていけると感じました。

顔の見える関係性ができてくれば、もっと気軽に問い合わせや相談ができると思います。敷居が低くなることで連携が進むと思いますので、今後ともこのような機会をよろしくお願いします。

３回目は見える事例検討会（見え検）の体験講座を開催しました

令和８年２月発行甲州市役所健康増進課